



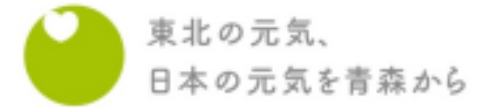
# 青森県復興プランの取組状況

---

命と暮らしを守る〈生活再建〉	2
あおもりの生業復興〈産業復興〉	4
暮らしと生業を支える〈インフラ復興〉	7
支障物・がれきの撤去	9
東北復興への貢献	10
今後の取組	13

平成23年9月12日  
青森県復興対策本部

# 命と暮らしを守る < 生活再建 >



・被災者の生活再建に向けた当面の資金と住宅を確保するとともに、健康で安心して暮らせる生活環境を確保するための対策を実施。

## 当面の生活資金と住宅の確保

### 義援金の配分

9月8日までに7市町に対して13億5,029万円を送金(精算見込額。うち、市町において13億196万円を支給済)、9月9日、二次配分の2回目として7市町に対して2億4,872万5千円を送金

### 被災者生活再建支援金の支給

9月12日現在、基礎支援金489件、加算支援金231件に係る約5億9,000万円を支給済  
一時受入施設としての、旅館・ホテルの提供

県内被災者 延べ13人、県外被災者 延べ286人、県外被災者短期受入 延べ437人を受入  
県営住宅等の提供

9月9日現在、公営住宅等 264戸、借上民間賃貸住宅(県外被災者) 74戸に入居決定済

## 健康で安心して暮らせる生活環境の確保

### 県内被災者の健康支援

保健師等のチームによる健康相談と、精神科医等の心のケアチームによる心の健康相談への対応を実施  
(3月に実施 健康相談666件、心の健康相談276件)

### 県外被災者の健康支援

保健師が県外被災者の避難先を毎戸訪問し、健康相談等を実施 (9/7現在 実施人数1,328人)

### 被災した児童生徒の心のケア

被災児童生徒の心のケアのためのスクールカウンセラーを派遣 (9/1現在 派遣回数16回)

### 環境の保全と安心の確保

被災したし尿処理2施設分のし尿について、周辺市町村等に対し、その処理を依頼するとともに、  
県施設での処理を実施

アスベスト濃度調査や環境放射線モニタリングを実施(いずれも影響がないレベル)

# 命と暮らしを守る < 生活再建 >

・震災の影響による離職者等の雇用機会創出対策や、労働者の雇用維持対策を実施。

## 雇用機会の創出

雇用創出関連の基金事業の活用による雇用機会の創出

9月9日現在、県・市町村事業96事業実施。雇用見込数1,000人超

県発注公共工事における緊急雇用対策の実施

平成25年3月31日までの被災者雇用対策として実施中

## 雇用維持対策の実施

雇用調整助成金制度等の周知

震災発生後、相談窓口の設置や、県広報番組を通じて周知を徹底

【雇用調整助成金の支給状況】(青森労働局資料)

・休業実施計画届受理件数(4~7月) 1,484件(前年同月 1,175件)

・支給件数、金額(7月分) 267件、3億9,423万円(前年同月 130件、8,308万円)

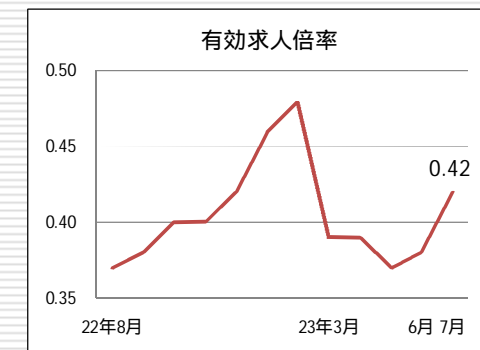
計画届受理から支給まで3か月程度を要する。



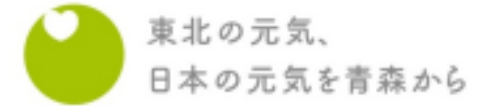
県内の雇用情勢(8/30青森労働局発表)

7月の有効求人倍率『0.42倍』(前月比0.04ポイント増。2か月連続で前月上回る。)

- ・建設業などで震災復興関連の求人が多く出されている。
- ・求人数全体の約1割は緊急雇用対策によるもの。
- ・県内の企業活動が活発化しているとまでは言えない(同職業安定部担当者)。



# あおもりの生業復興 < 産業復興 >



- ・「未来を拓くあもり漁船漁業復興事業」を活用した漁船等の取得に向け、漁業関係者に周知を図るとともに、共同利用施設等の早期復旧に向け復旧工事を着実に実施。
- ・被災水田、畑地・園芸ほ場の除塩、復旧工事は年度内に終了予定、必要となる資材・機械等の導入を着実に実施。
- ・復旧に向け農漁業者が必要とする資金の無利子化等を実施。

## 水産業の復興

「未来を拓くあもり漁船漁業復興事業」(県事業費80億円)

説明会(関係市町村、漁業者)、個別相談会(泊、白糠、尻屋、階上、八戸みなと、三沢市、八戸機船、八戸市南浜の各漁協)

共同利用施設6施設のうち、1施設は復旧工事完了、3施設は暫定供用開始

八戸市魚市場 平成23年11月14日～17日に災害査定を実施予定

種苗生産施設 県栽培漁業センターは、応急工事を実施中

## 被災水田、園芸産地等の復旧

被災水田約86haのうち、除塩作業及び災害復旧工事等を実施した約23haで田植えを実施し、残り約63haは引き続き除塩作業や災害復旧工事等を実施中

「被災園芸産地施設復旧等緊急支援事業」

平成23年度末までに必要な資材、機械等を導入予定 (八戸市、三沢市、おいらせ町)

## 資金支援等

農林漁業セーフティネット資金等日本政策金融公庫資金 36件、8億8,620万円(うち農業:8件、7億1,620万円、漁業:28件、1億7,000万円)

青森県経営安定化サポート資金「災害復旧枠」(水産食料品製造業部門) 35件、約17億円

# あおもりの生業復興 < 産業復興 >

・被災企業の早期再開に向けた、各種金融支援や助成措置を実施。

## 金融支援の充実・強化

青森県経営安定化サポート資金に「災害復旧枠(無利子・保証料全額免除)」を新たに創設

9月9日現在、481件、約150億円利用

青森県経営安定化サポート資金に「中小企業経営安定枠」を新たに創設

9月9日現在、979件、約163億円利用

青森県未来への挑戦資金に従来の雇用特別支援枠に加え、「震災離職者雇用支援枠」を新たに創設

9月9日現在、3件、1億2,000万円利用

## 助成制度の創設

中小企業等グループ施設等復旧整備事業費補助金(国庫補助事業)を新たに創設

8月5日付けで、認定した6グループの各構成員に対して補助金の交付を決定

青森県の認定・支援グループについて

グループ名	グループ代表者名・構成員数	代表者所在地	業種
高度技術産業グループ	アルバック東北(株)等 28者	八戸市	機械器具製造業(エレクトロニクス等の生産設備を製造等)
八戸市中心地振興グループ	商店街振興組合三日町三栄会及び八戸市十三日町商店街振興組合等 19者	八戸市	小売業、飲食業、ホテル業等
八戸地域造船グループ	北日本造船(株)等 32者	八戸市	造船業等
非鉄金属製造業グループ	東北臨海興業(株)等 5者	八戸市	非鉄金属製造業等(ニッケル精錬関連事業)
八戸水産業グループ	武輪水産(株)等 103者	八戸市	水産加工業等
港湾運送・港湾倉庫グループ	八戸港湾運送(株)等 21者	八戸市	港湾運送、倉庫業等



県内景況4~6月期(7/29東北財務局青森財務事務所発表)

「県内経済は、依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかな持ち直しの動きがみられる」(上方修正)

# あおもりの生業復興 < 産業復興 >

- ・農林水産物の放射性物資のモニタリング調査を計画的に実施。
- ・モニタリング調査結果は、海外にも情報発信。
- ・簡易型放射線測定器購入に対する支援を実施。

## 風評被害の防止

### 農林水産物の放射性物質のモニタリング調査

農林水産物安全・安心モニタリング調査事業計画(8/4現在)

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	25	185	200	153	92	95	71	74	75	970

7月26日から調査を開始し、9月8日現在、

39品目226件について放射性物質の検出なし

7月27日、モニタリング調査結果を台湾のりんご輸入業者等へメール配信を開始(2週間に1回定期配信)

### 簡易型放射線測定器への導入支援

「農林水産物安全・安心販売体制づくり支援事業」により17台の導入支援を決定

(2次募集期日:12/28まで)

### 輸出品検査

県内の民間検査機関が、国庫事業を活用した輸出品の放射性物質検査を6月20日から開始

(9/1現在 36件)

### 食品等に関する証明書の発行

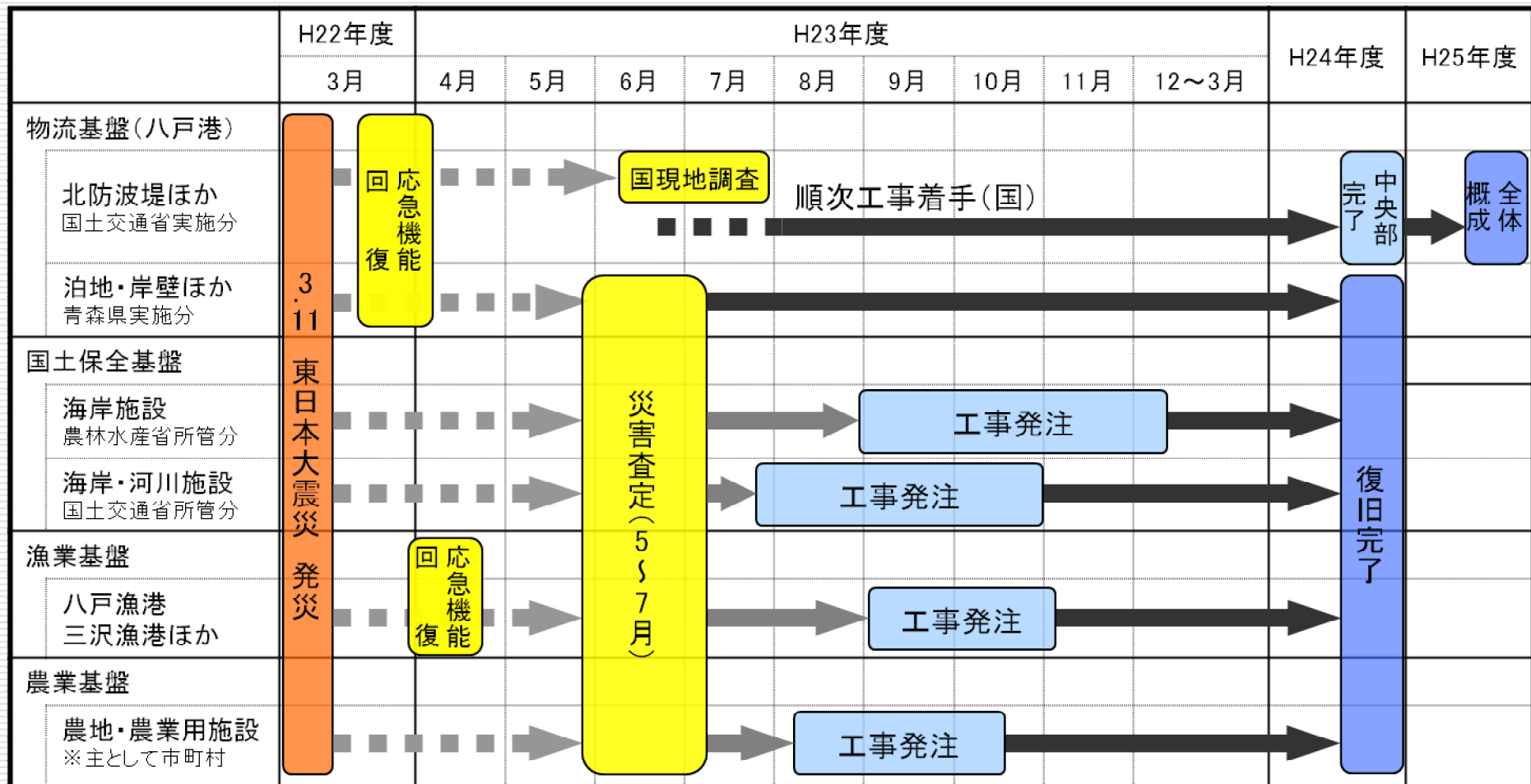
海外向けに輸出される食品等について、農林水産省の通知に基づき県が産地等の証明書を発行

(9/8現在 126件)



# 暮らしと生業を支える<インフラ復興>

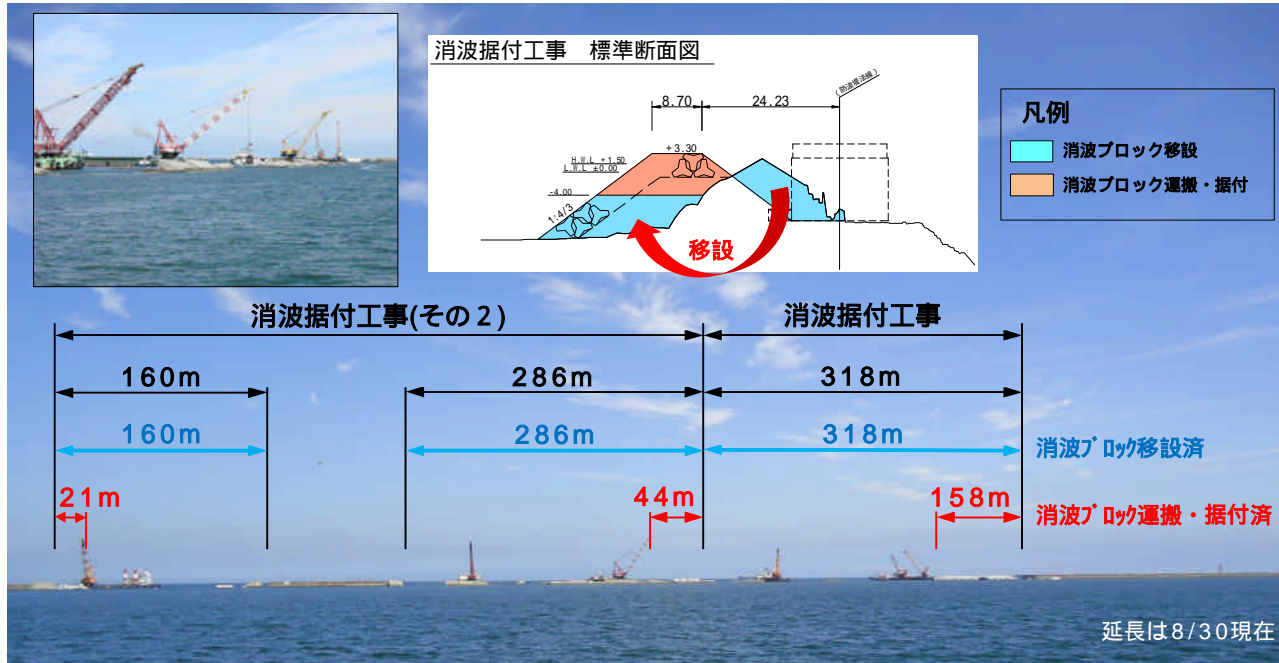
- ・発災直後から応急復旧を行い、物流や漁業基盤を応急機能回復。
- ・早期の本復旧に向け、7月までに国による災害査定を終え、順次工事を発注。
- ・10月までにほとんどの復旧工事に着手見込み、概ね2年程度(H24年度)を目標に復旧完了を目指す。



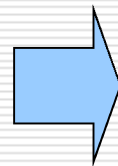
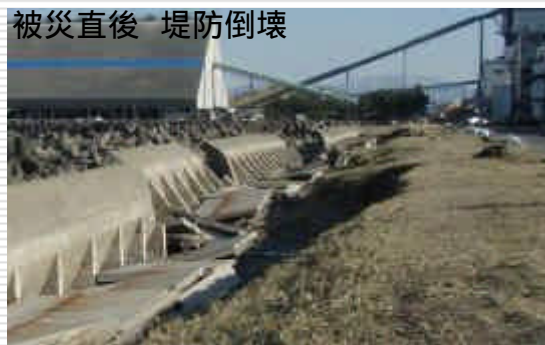
# 暮らしと生業を支える<インフラ復興>

八戸港 北防波堤復旧状況 8/31現在(国土交通省資料)

三沢漁港 復旧状況 9/1現在



八戸港 八太郎海岸堤防復旧状況 9/5現在





# 支障物・がれきの撤去

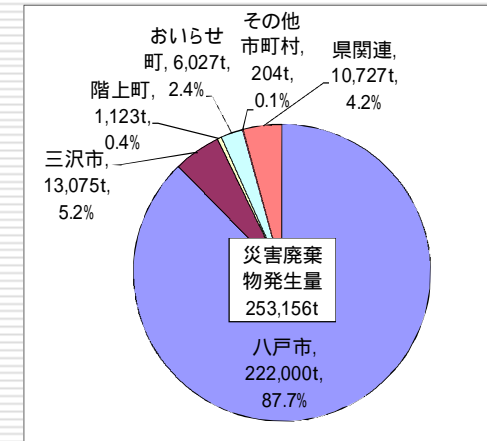
- ・県内で発生した災害廃棄物は、平成23年8月26日現在、約25万3千トン(推計値)。
- ・平成21年度の県内一般廃棄物処理量(約52万6千トン)の約48%に相当。

災害廃棄物の速やかな撤去に向け、運搬機材や仮置場の確保等市町村と調整を進め、一部事業所内等で保管しているものを除き、市町村内において散乱していた廃棄物の仮置場等への搬入は終了

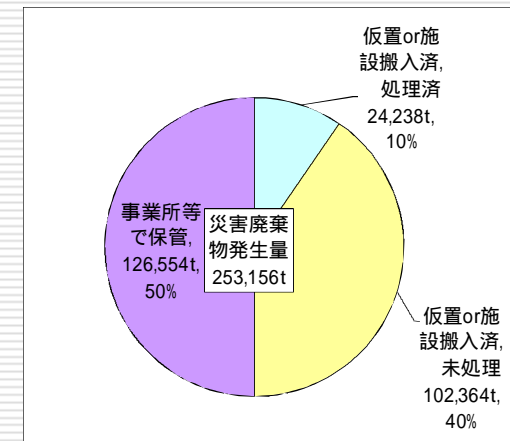
現在、分別作業を行いながら、処理施設での処分やリサイクルを実施



仮置場への集積状況

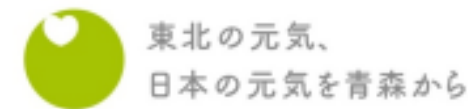


災害廃棄物市町村別発生量(推計値)



災害廃棄物処理量

# 東北の元気、日本の元気を青森から < 東北復興への貢献 >



・甚大な被害を受けた岩手県・宮城県、福島県に対する支援策の一つとして、被災県のニーズに応じた人的支援を継続。

## 岩手県、宮城県、福島県への人的支援

(9/12現在)

県の要請に基づく医療・介護関係者や県職員による支援

救助救出、救急搬送業務、避難住民の診察、児童福祉相談、介護業務支援等を実施

延べ人数 692人 支援量(人・日)4,115人・日

市町村職員による支援

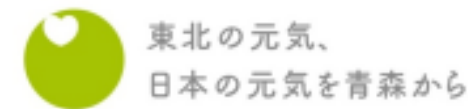
避難所運営支援、給水活動、公共施設の復旧業務、被災宅地危険度判定業務等を実施

延べ人数 1,073人 支援量(人・日)4,821人・日

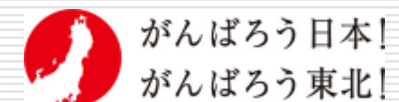




# 東北の元気、日本の元気を青森から < 東北復興への貢献 >



・青森デスティネーションキャンペーン  
「がんばろう日本！がんばろう東北！」を実施(4/23~7/22)。

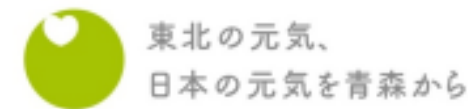


県内観光施設観光客入込数等(8/19青森県観光企画課発表)

		(単位:人)				
		3月	4月	5月	6月	7月
県内34施設 入込数合計	23年	348,783	512,720	1,013,449	770,572	1,044,646
	22年	590,672	804,366	1,333,305	755,061	979,927
	前年比	59.0	63.7	76.0	102.1	106.6
県内56宿泊施設 宿泊客数合計	23年	63,620	74,608	106,105	110,845	128,032
	22年	83,110	96,096	122,091	113,623	123,857
	前年比	76.5	77.6	86.9	97.6	103.4



# 東北の元気、日本の元気を青森から < 東北復興への貢献 >



- ・十和田・奥入瀬サマーキッズキャンパスでは、原発事故の影響で屋外での活動が抑制されている福島の子供たち、家族を2週間のプログラムで受け入れ。
- ・ほかにも、夏休みを中心に、県内各市町村や団体が、被災地の方々や青森県に避難されている被災者を対象に、様々な支援プログラムを実施。

## 十和田・奥入瀬サマーキッズキャンパス

・平成23年8月7日～22日、15泊21日、251名参加

## 県内各自治体、団体の受け入れプログラム

・7月～8月にかけて、夏祭り期間を中心に、21のプログラム・地域で被災者を受け入れ





# 今後の取組

- ・復興プランを基本に、情勢変化等に柔軟に対応し、スピード感を持って、復興に向けた取組をさらに推進。
- ・創造的復興に向けた中長期的な取組の方向性を示す「青森県復興ビジョン」を年内を目途に策定。
- ・今回の災害の教訓を踏まえ、防災対策の総点検を行い、年度内を目途に必要な見直しを実施。

## 青森県復興ビジョンの策定

各分野の専門家や有識者などで構成する「青森県復興ビジョン策定懇話会」を設置  
(座長:弘前大学 井口泰孝監事)

これまで3回開催し、委員による意見交換や八戸市沿岸部の復興状況に係る現地調査、ビジョンの構成イメージの議論を実施

懇話会を今後3回程度開催し、県議会や市町村などの意見も聞きながら、年内を目途にビジョンを策定

